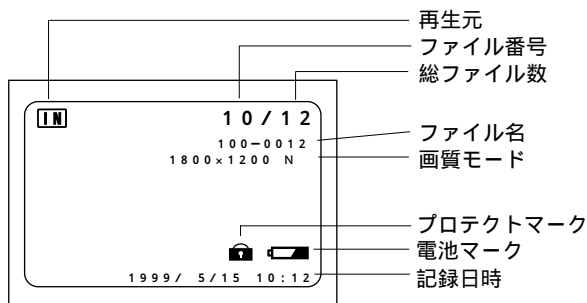
再生／消去　第4章

再生の前に

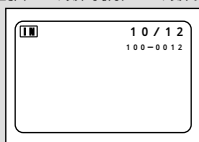
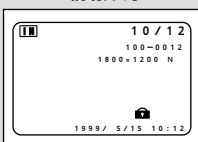
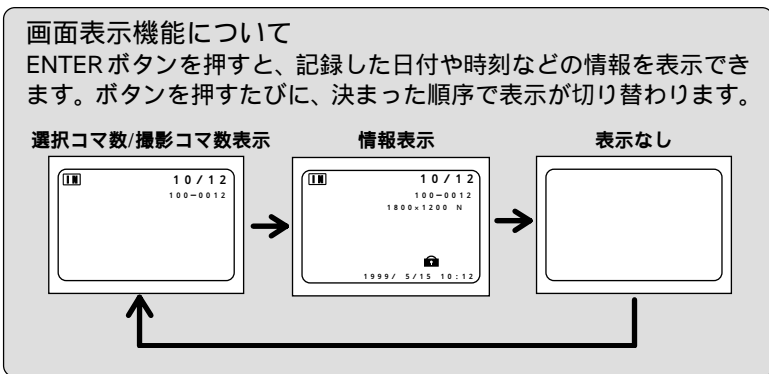
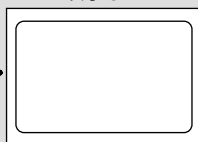
再生の準備と、再生画面の見かたについて説明します。

再生画面について

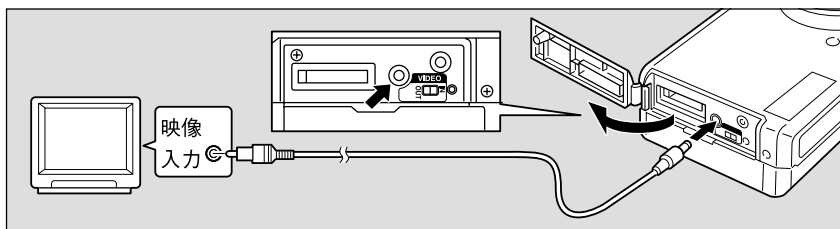
再生モードにしたときに記録したファイルの番号や種類を、図のように約２秒間表示します。

再生元	再生元の内蔵メモリーまたはスマートメディアを表示します。	
	IN	内蔵メモリーを表します。
	CARD	スマートメディアを表します。
ファイル番号	再生ファイルの番号です。	
総ファイル数	記録されているファイルの総数です。	
ファイル名	再生ファイルのファイル名称です。プリントサービスのときなどに使用します。 DCF（Design rule for Camera File system）に準拠していないファイルが再生された場合は、「＊□□□□□□□□」と表示されます。 ＊パソコン上でファイル名を変更した場合、カメラ側ではファイル名を正しく表示できないことがあります。	
画質モード	再生ファイルの画質モードを表示します。	
プロテクトマーク	プロテクトを設定したファイルを再生したときに表示されます。	
電池マーク	カメラ本体の電池の消耗を表示します。	
記録日時	再生ファイルの記録した日時を表示します。	

補足
・再生は、カメラを横位置に構えた状態を基準に表示します。そのため、縦位置に構えて撮影した被写体は横向き表示されます。

画面表示機能について

ENTERボタンを押すと、記録した日付や時刻などの情報を表示できます。ボタンを押すたびに、決まった順序で表示が切り替わります。

テレビに接続する

同梱のビデオ接続ケーブルをカメラとテレビに接続すると、記録したファイルをテレビで再生することができます。

・接続する機器の取扱説明書も併せてご覧ください。

❶ カメラ本体とテレビの電源が切れていることを確認します。

❷ カメラの端子カバーを開き、ビデオ入出力スイッチを［OUT］にしてビデオ入出力端子にビデオ接続ケーブルを接続します。

❸ ビデオ接続ケーブルのもう一方を、テレビの映像入力端子にしっかりと接続します。

長時間お使いになるときは

ACアダプター（別売り）を使って、家庭用コンセントから電源をとることをお勧めします。→P.28「コンセントで使う」

※ACアダプターは、必ずカメラの電源が切れている状態で接続してください。

補足

・海外旅行などでPAL方式のテレビで再生することもできます。→P.107「ビデオ方式を変更する」

・ビデオプリンターなどのモニターとして使用できます（NTSC方式のみ）。ビデオ入出力スイッチを［IN］にし、ビデオ接続ケーブルをビデオプリンターの映像出力端子に接続します。

・ビデオ入出力スイッチをPAL方式に切り替えたときに、ビデオ接続ケーブルを接続すると液晶モニターは表示されません。

ファイルの再生

撮影したファイルの再生方法を説明します。

操作の流れ

基本的な再生操作は、次のような流れになります。

電源を入れる

カメラの電源スイッチをスライドし、モードダイヤルを［▶］に合わせます。→P.41

↓

再生元を選択する

再生元の内蔵メモリーまたはスマートメディアを選択します。
スマートメディアのセット→P.31

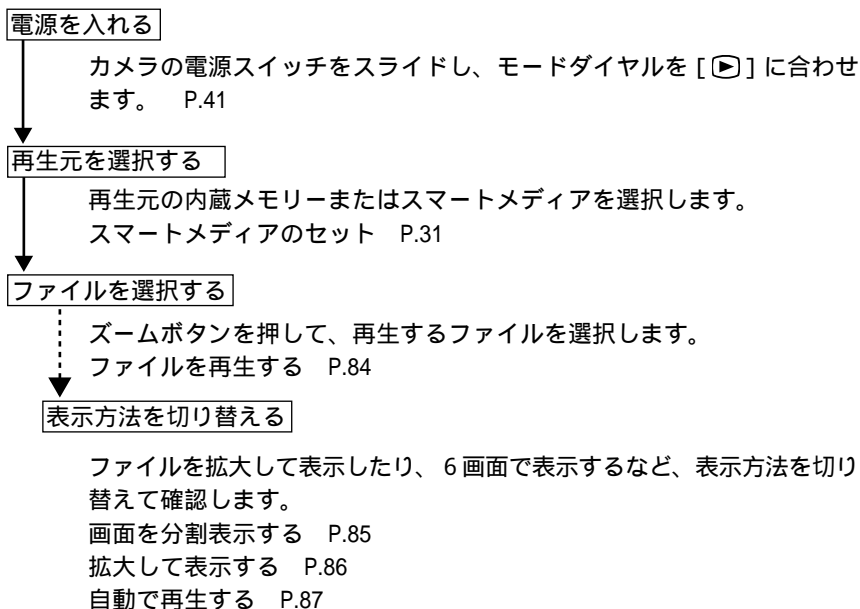
↓

ファイルを選択する

ズームボタンを押して、再生するファイルを選択します。
ファイルを再生する→P.84

↓

表示方法を切り替える

ファイルを拡大して表示したり、６画面で表示するなど、表示方法を切り替えて確認します。
画面を分割表示する→P.85
拡大して表示する→P.86
自動で再生する→P.87

■カメラで再生できるデータについて

カメラで再生できるファイルは、次のデータです。

・本機で記録したデータ
・パソコンから、本機対応のリコー製ソフトウェアで転送したデータ
・他社カメラで撮影したデータ→P.89「他社カメラで撮影したファイルを再生する」

補足
・再生できないデータは、「UNMATCHED FILE」とメッセージが表示されます。
・デジタルカメラ DC-3Z／DC-4シリーズ（リコー製）で記録したデータも表示できます（ズーム再生、音声ファイルやNCファイルは再生できません）。

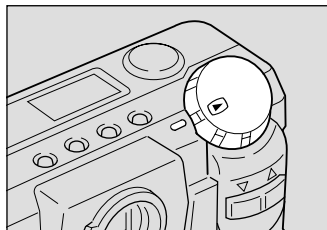
ファイルを再生する

画像モード、文字モード、連写モードで記録したファイルを再生します。

❶ モードダイヤルを［▶］に合わせます。

最後に記録したファイルが再生されます。

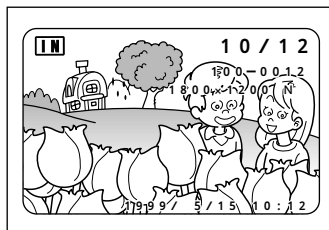
参照 P.80「再生画面について」

❷ CARD/IN ボタンを押して、再生元を選びます。

❸ ▼ボタンや▲ボタンを押して、再生するファイルを選びます。

ファイルを送る

▲（[♠]）ボタンを押します。

ファイルを戻す

▼（[♠]）ボタンを押します。

●再生画面について

次の画像サイズで撮影すると、再生画面は以下のようになります。

1800×1200

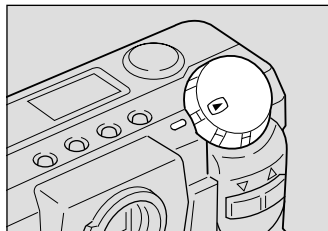
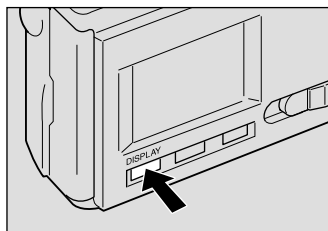
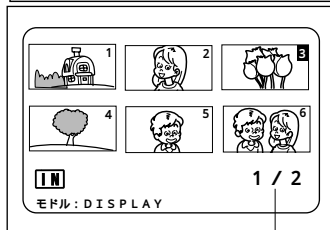
900×600

640×480

補足
- スマートメディアの容量によっては、電源を入れてから、もしくはモードダイヤルを変更してからファイルを再生するまでに時間がかかることがあります。
- 連写モードで撮影したファイルも１ファイルとして記録されるため、通常のファイルと同じように再生できます。
- ６画面表示で一度に複数のファイルを表示できます。→P.85「画面を分割表示する（分割再生）」
- ファイルを拡大して表示できます。→P.86「拡大して表示する（ズーム再生）」
- ファイルを自動で再生できます。→P.87「自動で再生する（オート再生）」
- ファイルを消去できないようプロテクトを設定できます。→P.88「プロテクトを設定する」

画面を分割表示する（分割再生）

画面を６分割にし、複数のファイルを一度に表示します。見たいファイルをすばやく検索できます。

❶ **モードダイヤルを［▶］に合わせます。**

❷ **DISPLAY ボタンを押します。**
６画面表示に変わります。

❸ **▼ボタンや▲ボタンを押して、再生するファイルを選びます。**
コマ番号の表示位置を固定に、６ファイル分ずつ液晶モニターに表示します。
番号が反転表示しているファイルは、選択されているファイルを表します。

２画面分の１画面目を表示

選択ファイルを移動する

▼（［⧫］）ボタンを押すと前方向のファイルに、▲（［⧫］）ボタンを押すと後方向のファイルに移動します。

補足
・他の機器で記録したファイルで再生不可能なファイルは、ブルーバック（青色）で表示されます。
・カーソルが最終ファイル（右下）にあるとき、▲ボタンを押すと次の６ファイルが表示されます。また、先頭ファイル（左上）にあるとき▼ボタンを押すと、前の６ファイルが表示されます。

❹ **DISPLAY ボタンを押します。**
通常の画面表示に戻り、反転表示した番号のファイルが１画面表示されます。

拡大して表示する（ズーム再生）

再生しているファイルを縦横に拡大して表示します。

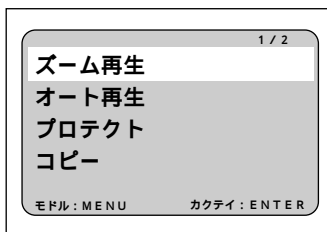
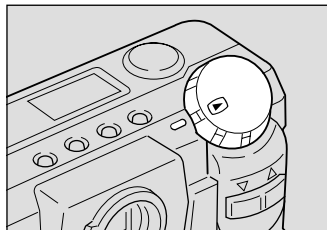
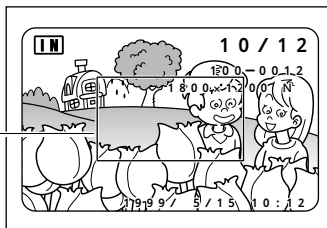
補足 ・ズーム再生ができる画像サイズは、1800 × 1200（F/N/E）と 900 × 600（F/N/E）のみです。

❶ モードダイヤルを［▶］に合わせ、MENU ボタンを押します。

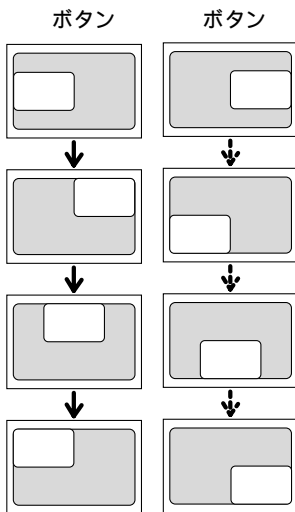
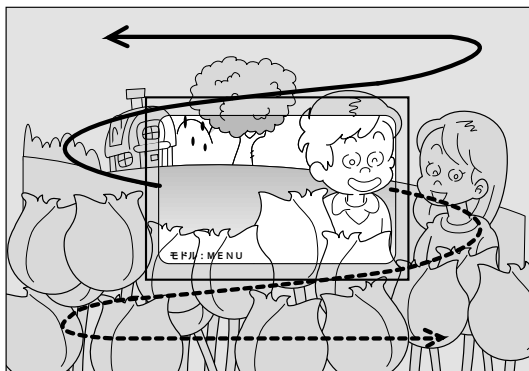
再生メニューが表示されます。

補足 ・操作を取り消すときは、MENU ボタンを押します。

❷ ▼ボタンや▲ボタンを押して［ズーム再生］を選び、ENTER ボタンを押します。

補足 ・操作を取り消すときは、MENU ボタンを押します。再生メニューに戻ります。

再生画面の中央部分がズーム再生されます。

ファイルが拡大表示されます。

❸ ▼ボタンや▲ボタンを押して、ファイルを確認します。

次ページのイラストのように、▲ボタンを押すと実線のように再生位置が移動します。▼ボタンを押すと破線のように再生位置が移動します。

❹ **ファイルの確認後、MENUボタンを押してズーム再生を終了します。**

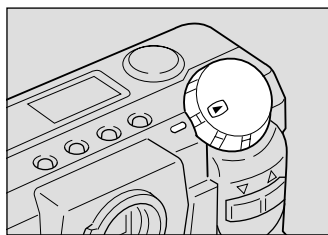
再生メニューに戻ります。再びMENUボタンを押して操作を終了します。

自動で再生する（オート再生）

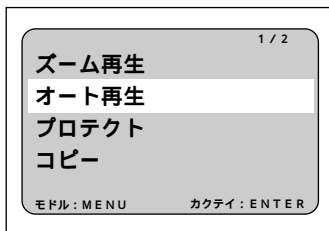
内蔵メモリーまたはスマートメディア内のすべてのファイルを、自動で再生します。

❶ **モードダイヤルを［▶］に合わせ、MENUボタンを押します。**

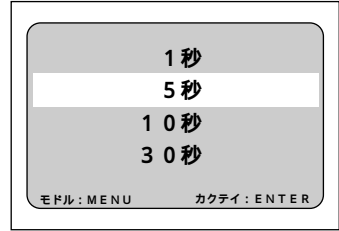
再生メニューが表示されます。

補足 ・操作を取り消すときは、MENUボタンを押します。

❷ **▼ボタンや▲ボタンを押して［オート再生］を選び、ENTERボタンを押します。**

オート再生の設定メニューが表示されます。

補足 ・操作を取り消すときは、MENUボタンを押します。再生メニューに戻ります。

❸ **▼ボタンや▲ボタンを押して再生する時間を選び、ENTER ボタンを押します。**

液晶モニターに表示している時間は、1 秒、5 秒、10 秒、30 秒から選択できます。ファイルを呼び出している時間は含まれません。
ENTERボタンを押すと指定した時間でオート再生が開始されます。中止動作を行うまでは、オート再生を続けます。

1秒
5秒
１０秒
３０秒
モドル：MENU　カクテイ：ENTER

オート再生を中止するには

再生中にレリーズボタンやズームボタンなど、何らかのボタンを押すと、オート再生を中止します。

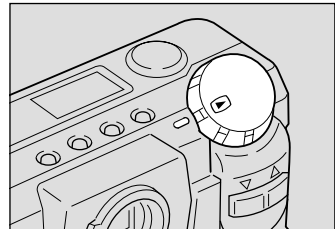
プロテクトを設定する

大切なファイルを誤って消去してしまわないよう、プロテクト（誤消去防止）を設定できます。

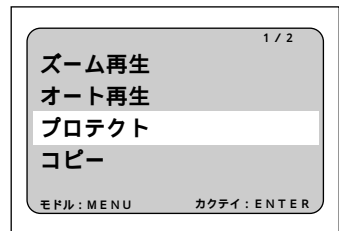
・スマートメディアまたは内蔵メモリーをフォーマットすると、プロテクトされているファイルも消去されます。

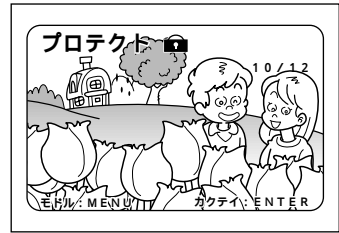
❶ **モードダイヤルを［▶］に合わせ、MENU ボタンを押します。**

再生メニューが表示されます。

補足 ・操作を取り消すときは、MENU ボタンを押します。

❷ **▼ボタンや▲ボタンを押して［プロテクト］を選び、ENTER ボタンを押します。**

プロテクトの設定メニューが表示されます。

補足 ・操作を取り消すときは、MENU ボタンを押します。再生メニューに戻ります。

❸ ▼ボタンや▲ボタンを押してプロテクトを設定するファイルを選び、ENTERボタンを押します。

プロテクトが設定され、🔒マークが表示されます。続けてプロテクトを設定するときは、手順❸を繰り返します。

❹ MENUボタンを押してプロテクトの設定を終了します。

再生メニューに戻ります。再びMENUボタンを押して操作を終了します。

補足
・プロテクトを設定したファイルは消去できません。プロテクトの設定を解除してから消去してください。
・分割再生のときは、プロテクトを設定できません。1画面表示にして設定してください。→P.85「画面を分割表示する（分割再生）」

設定を解除するには

同様の操作を行い、手順❸でプロテクトが設定されたファイルを選び、ENTERボタンを押して🔒マークを消します。

他社カメラで撮影したファイルを再生する

他社カメラで撮影したファイルを再生します。他社カメラのファイルフォーマットがDCF[*1]に対応したファイルのみ再生できます。

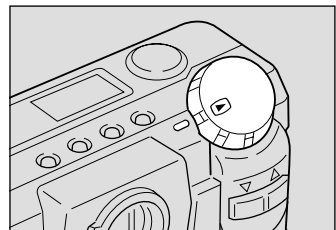
＊1：DCFは、（社）日本電子工業振興協会（JEIDA）で標準化された「Design rule for Camera File system」の略称です。

❶ スマートメディアをセットします。

参照 P.31「スマートメディアのセット」

❷ モードダイヤルを［▶］に合わせ、MENUボタンを押します。

再生メニューが表示されます。

補足
・操作を取り消すときは、MENUボタンを押します。

❸ ▼ボタンや▲ボタンを押して［フォルダー選択］を選び、ENTERボタンを押します。

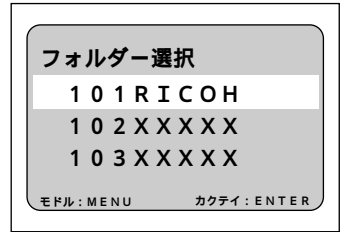
フォルダー選択の設定メニューが表示されます。

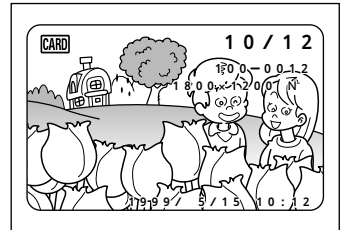
▲ 2／2
フォルダー選択
DPOF設定
モドル：MENU カクテイ：ENTER

補足 ・操作を取り消すときは、MENU ボタンを押します。再生メニューに戻ります。

❹ ▼ボタンや▲ボタンを押してフォルダーを選び、ENTER ボタンを押します。

❺ MENUボタンを押してフォルダー選択を終了します。

再生メニューに戻ります。再び MENU ボタンを押して再生メニューを終了します。

フォルダー内のファイルが表示されます。▼ボタンや▲ボタンを押して、再生するファイルを選びます。

参照 P.84「ファイルを再生する」

ファイルをコピーする

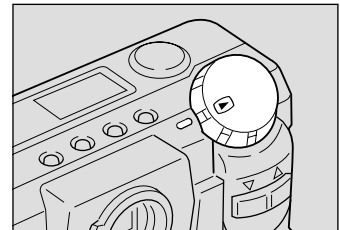
内蔵メモリー内のファイルをスマートメディアへ、またはスマートメディア内のファイルを内蔵メモリーへコピーします。

補足 ・プロテクトを設定したファイルをコピーしても、コピーした側のファイルにはプロテクトは設定されていません。
・コピーできるファイルは、本機で撮影したファイルです。

❶ モードダイヤルを［▶］に合わせます。

❷ CARD/IN ボタンを押してコピー元を選び、MENU ボタンを押します。

再生メニューが表示されます。

補足 ・操作を取り消すときは、MENU ボタンを押します。

❸ **▼ボタンや▲ボタンを押して[コピー]を選び、ENTERボタンを押します。**

コピーの設定メニューが表示されます。スマートメディアを再生しているときは、「CARD→IN」、内蔵メモリーを再生しているときは「IN→CARD」へのコピーになります。

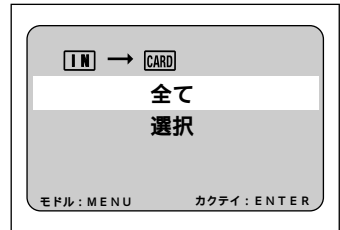
●コピー方法について

全てのファイルをコピーする→P.91
ファイルを選択してコピーする→P.91

■全てのファイルをコピーする

❶ **▼ボタンや▲ボタンを押して[全て]を選び、ENTERボタンを押します。**

全コピーのメニューが表示されます。

補足 ・操作を取り消すときは、MENUボタンを押します。再生メニューに戻ります。

❷ **レリーズボタンを押します。**

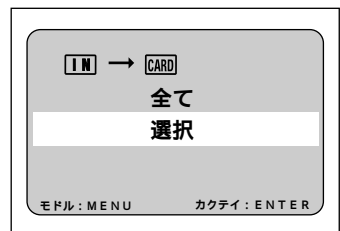
すべてのファイルがコピーされます。
コピー後、再生メニューに戻ります。MENUボタンを押して操作を終了します。

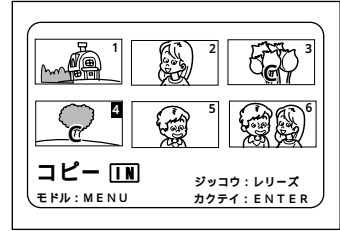
重要 ・コピー先の容量が不足している場合、「容量不足です　コピーしますか？」と表示されます。レリーズボタンを押すと残容量分のファイルをコピーします。MENUボタンを押すとコピーの操作を取り消します。

■ファイルを選択してコピーする

❶ **▼ボタンや▲ボタンを押して[選択]を選び、ENTERボタンを押します。**

選択コピーのメニューが表示されます。

補足 ・操作を取り消すときは、MENUボタンを押します。再生メニューに戻ります。

❷ **▼ボタンや▲ボタンを押してコピーするファイルを選び、ENTERボタンを押します。**

選択したファイルにCマークが表示されます。複数ファイルを選択するときは、手順❷を繰り返します。

・Ｃマークのついたファイルのコピーを解除するには、もう一度ENTERボタンを押します。

❸ **レリーズボタンを押します。**

選択したファイルがコピーされます。続けてコピーするときは、手順❶～❸を繰り返します。コピー後、再生メニューに戻ります。MENUボタンを押して操作を終了します。

・コピー先の容量が不足している場合、「容量不足です　コピーしますか？」と表示されます。レリーズボタンを押すと残容量分のファイルをコピーします。MENU ボタンを押すとコピーの操作を取り消します。

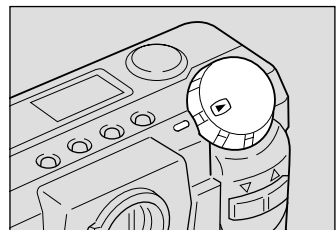
プリントサービスの設定

撮影したファイルをデジタルプリントサービスでプリントする際、プリント枚数やインデックス枚数の設定を行います。

・プリントサービスの設定は、RICOH フォルダー内のファイルのみ設定できます。
・プリントサービスの設定を行うには、スマートメディアまたは内蔵メモリーにファイル１～２枚分の空き容量を残してください。
・プリントサービス設定後は、記録や消去などの設定を一切行わないでください。もし行った場合は再度設定し直してください。

❶ **モードダイヤルを [▶] に合わせ、MENUボタンを押します。**

再生メニューが表示されます。

補足 ・操作を取り消すときは、MENU ボタンを押します。

❷ ▼ボタンや▲ボタンを押して［DPOF設定］を選び、ENTERボタンを押します。

補足 ・操作を取り消すときは、MENUボタンを押します。再生メニューに戻ります。

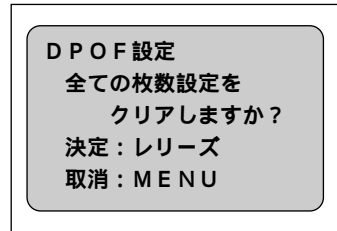
▲ 2／2
フォルダー選択
DPOF設定
モドル：MENU カクテイ：ENTER

❸ レリーズボタンを押します。

すでにカメラでDPOF設定を行っている場合、レリーズボタンを押して、DPOF設定をクリアします。クリアしないと、プリントサービスの設定は行えません。

DPOF設定
全ての枚数設定を
クリアしますか？
決定：レリーズ
取消：MENU

●枚数の指定や設定の解除について

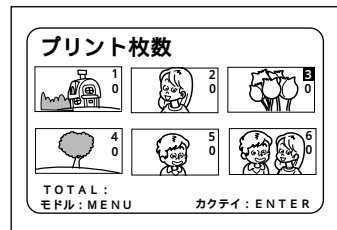
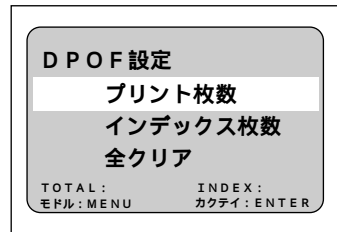
プリント枚数を指定する→ P.93
インデックス枚数を指定する P.94
DPOF 設定を解除する→ P.95

■プリント枚数を指定する

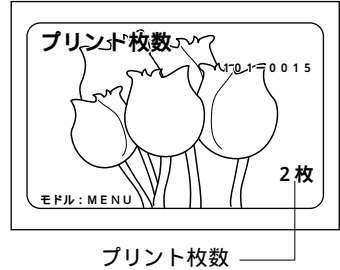
❶ ▼ボタンや▲ボタンを押して［プリント枚数］を選び、ENTERボタンを押します。

６画面表示に変わります。

補足 ・操作を取り消すときは、MENUボタンを押します。再生メニューに戻ります。

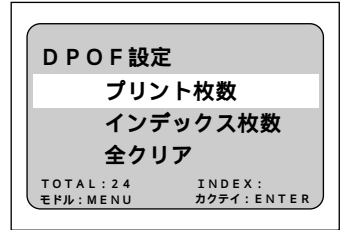
❷ ▼ボタンや▲ボタンを押してプリント枚数を指定するファイルを選び、ENTERボタンを押します。

反転表示した番号のファイルが１画面で表示されます。

❸ ▼ボタンや▲ボタンを押してプリント枚数を指定し、MENU ボタンを押します。

プリント枚数が設定され、6画面表示に戻ります。続けてプリント枚数を設定するときは、手順❷・❸を繰り返します。

プリント枚数

❹ MENUボタンを押して、プリント枚数の設定を終了します。

再生メニューに戻ります。再びMENUボタンを押して操作を終了します。

なお、右の画面（DPOF設定）でモードダイヤルを回すと、設定された内容がクリアされます。必ずMENUボタンを押して再生メニューまで戻してください。

設定を解除するには

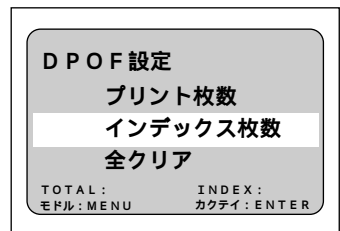
同様の操作を行い、手順❸でプリント枚数を0にします。

補足 ・設定した内容を全て解除するときは、［全クリア］を行います。→P.95「■ DPOF 設定を解除する」

■インデックス枚数を指定する

RICOHフォルダー内のすべてのファイルを縮小してプリントできます。インデックスプリントといい、フォルダー内のファイルを一覧で確認したり、プリント枚数を指定するときの目次として利用できます。

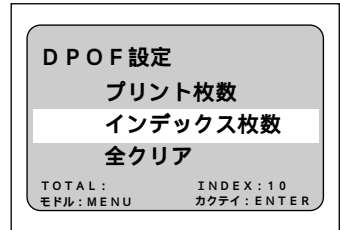
❶ ▼ボタンや▲ボタンを押して［インデックス枚数］を選び、ENTERボタンを押します。

インデックス枚数の設定メニューが表示されます。

補足 ・操作を取り消すときは、MENU ボタンを押します。再生メニューに戻ります。

❷ ▼ボタンや▲ボタンを押してインデックス枚数を指定し、ENTERボタンを押します。

インデックス枚数が設定されます。

❸ MENUボタンを押して、インデックス枚数の設定を終了します。

再生メニューに戻ります。再びMENUボタンを押して操作を終了します。
なお、右の画面（DPOF設定）でモードダイヤルを回すと、設定された内容がクリアされます。必ずMENUボタンを押して再生メニューまで戻してください。

設定を解除するには

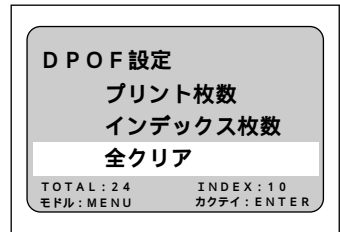
同様の操作を行い、手順❷でインデックス枚数を0にします。

補足 ・設定した内容を全て解除するときは、［全クリア］を行います。→P.95「■ DPOF設定を解除する」

■ DPOF設定を解除する

❶ ▼ボタンや▲ボタンを押して［全クリア］を選び、ENTERボタンを押します。

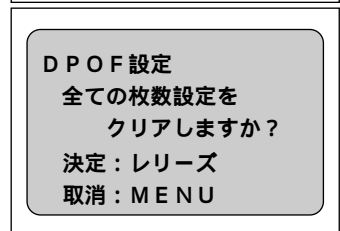
補足 ・操作を取り消すときは、MENUボタンを押します。再生メニューに戻ります。

DPOF設定
プリント枚数
インデックス枚数
全クリア
TOTAL：24　INDEX：10
モドル：MENU　カクテイ：ENTER

❷ レリーズボタンを押します。

すべての設定内容がクリアされます。

DPOF設定
全ての枚数設定を
クリアしますか？
決定：レリーズ
取消：MENU

❸ MENUボタンを押して、全クリアを終了します。

再生メニューに戻ります。再びMENUボタンを押して操作を終了します。
なお、右の画面（DPOF設定）でモードダイヤルを回すと、設定された内容がクリアされます。必ずMENUボタンを押して再生メニューまで戻してください。

ファイルの消去

記録したファイルを消去します。ファイルの消去には、指定したファイルを消去する１コマ消去、一度に全てのファイルを消去する全消去、複数のファイルを指定して消去する選択消去があります。

・スマートメディアがライトプロテクトされているときは消去できません。ライトプロテクトシールをはがしてから操作してください。→P.30「誤記録防止について」
・消去できるファイルは、本機で撮影したファイルです。
・スマートメディアの容量によっては、電源を入れてから、もしくはモードダイヤルを変更してからファイルを消去するまでに時間がかかることがあります。

操作の流れ

ファイル消去の操作は、次のような流れになります。

電源を入れる

カメラの電源スイッチをスライドし、電源を入れます。→P.41

消去モードに切り替える

モードダイヤルを［🗑］に合わせます。

消去元を選択する

消去元の内蔵メモリーまたはスマートメディアを選択します。
スマートメディアのセット→P.31

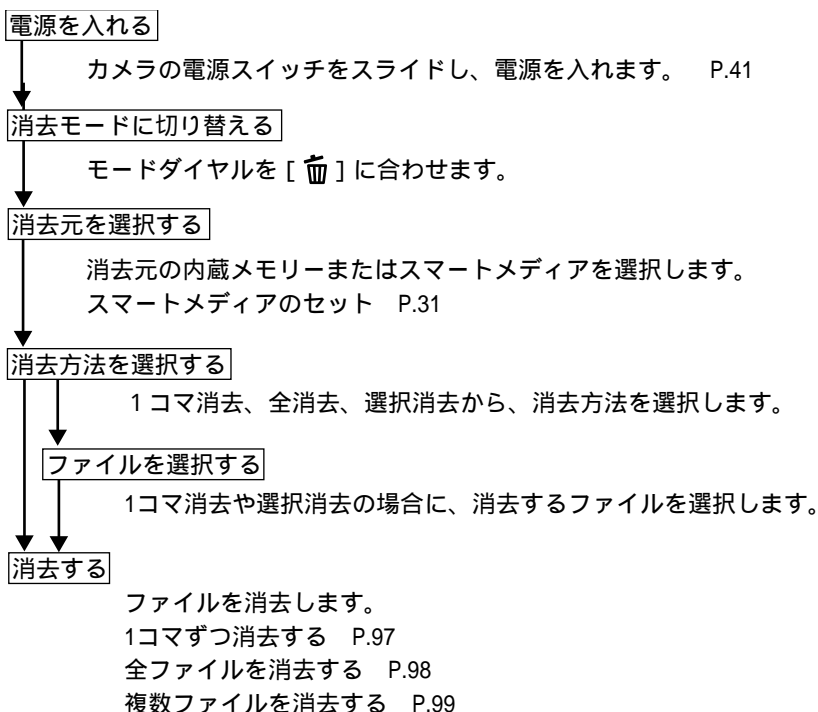
消去方法を選択する

１コマ消去、全消去、選択消去から、消去方法を選択します。

ファイルを選択する

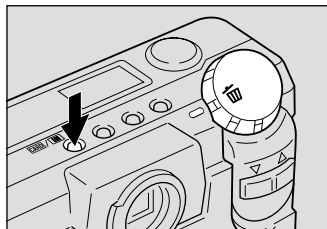
1コマ消去や選択消去の場合に、消去するファイルを選択します。

消去する

ファイルを消去します。
1コマずつ消去する→P.97
全ファイルを消去する→P.98
複数ファイルを消去する→P.99

１コマずつ消去する

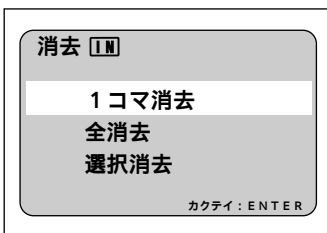
指定したファイルを消去します。

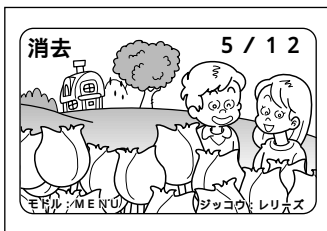
・消去したファイルは復元できません。ファイルの内容を十分に確認してから消去してください。

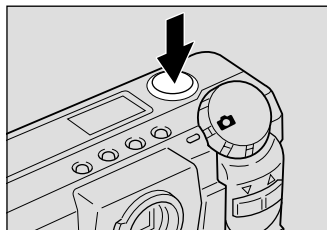
❶ **モードダイヤルを［🗑］に合わせ、CARD/IN ボタンを押して消去先を選択します。**

消去メニューが表示されます。

❷ **▼ボタンや▲ボタンを押して［１コマ消去］を選び、ENTER ボタンを押します。**

１コマ消去のメニューが表示されます。

補足 ・操作を取り消すときは、モードダイヤルを回します。

❸ **▼ボタンや▲ボタンを押して、消去するファイルを選びます。**

補足 ・操作を取り消すときは、MENU ボタンを押します。消去メニューに戻ります。

❹ **レリーズボタンを押します。**

ファイルが消去されます。続けて消去するときは、手順❸・❹を繰り返します。

❺ **MENUボタンを押して１コマ消去を終了します。**

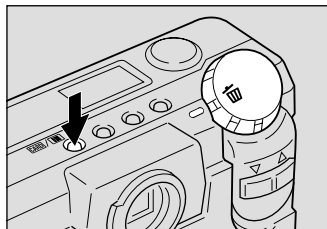
消去メニューに戻ります。モードダイヤルを回して他のモードに切り替えます。

・ファイルを消去すると、以降のファイル番号（コマ）が繰り上がります。
・スマートメディアの種類やファイルの種類によって、消去に時間がかかることがあります。
・プロテクトが設定されたファイル（マークを表示）は消去できません。プロテクトの設定を解除してから消去してください。→P.88「プロテクトを設定する」

全ファイルを消去する

フォルダー内の全てのファイルを消去します。

・消去したファイルは復元できません。ファイルの内容を十分に確認してから消去してください。

❶ モードダイヤルを［ ］に合わせ、CARD/IN ボタンを押して消去先を選択します。

消去メニューが表示されます。

❷ ▼ボタンや▲ボタンを押して［全消去］を選び、ENTER ボタンを押します。

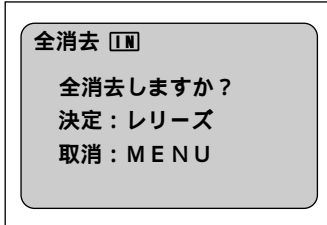
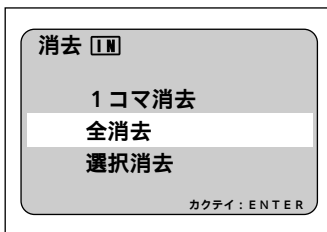
全消去のメニューが表示されます。

・操作を取り消すときは、モードダイヤルを回します。

❸ レリーズボタンを押します。

消去中のメッセージが表示され、すべてのファイルが消去されます。

全消去 IN
全消去しますか？
決定：レリーズ
取消：MENU

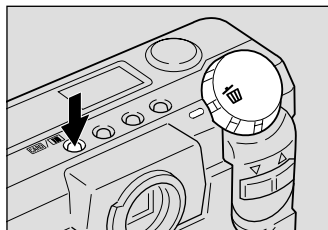
補足 ・操作を取り消すときは、MENU ボタンを押します。消去メニューに戻ります。

全消去後、消去メニューに戻ります。モードダイヤルを回して他のモードに切り替えます。

・記録した枚数が多い場合や、容量の多いスマートメディアの場合は、消去に時間がかかることがあります。
・プロテクトが設定されているファイル（マークを表示）は消去されません。そのまま記録されています。→P.88「プロテクトを設定する」

複数ファイルを消去する

指定した複数のファイルを消去します。

・消去したファイルは復元できません。ファイルの内容を十分に確認してから消去してください。

❶ モードダイヤルを［］に合わせ、CARD/IN ボタンを押して消去先を選択します。

消去メニューが表示されます。

❷ ▼ボタンや▲ボタンを押して［選択消去］を選び、ENTER ボタンを押します。

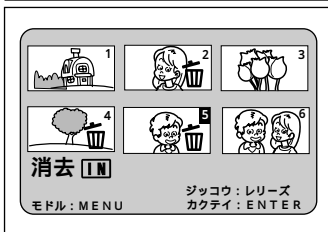
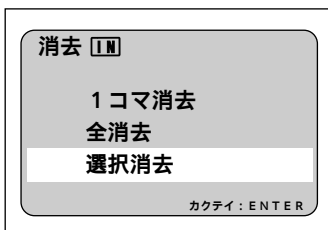
選択消去のメニューが表示されます。

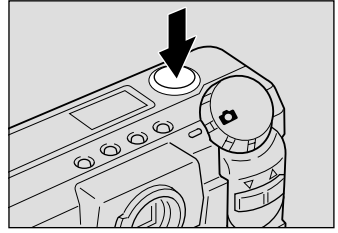
・操作を取り消すときは、モードダイヤルを回します。

❸ ▼ボタンや▲ボタンを押して消去するファイルを選び、ENTER ボタンを押します。

反転表示した番号のファイルにマークが表示されます。続けて選択するときは、手順❸を繰り返します。

・マークのついたファイルの消去を解除するには、もう一度ENTERボタンを押します。

4
再生／消去

❹ レリーズボタンを押します。

選択したファイルが消去されます。
選択消去後、消去メニューに戻ります。モードダイヤルを回して他のモードに切り替えます。

補足
・スマートメディアの種類やファイルの種類によって、消去に時間がかかることがあります。
・プロテクトが設定されたファイルは消去できません。プロテクトの設定を解除してから消去してください。→P.88「プロテクトを設定する」